

2018年8月30日

第14回 全国和算研究大会参加報告

和算は現代にも生きている

群馬大学 小林春夫

第14回全国和算研究大会（大会委員長 群馬県和算研究会会長 小林龍彦先生）が栃木県佐野市郷土博物館にて2018年8月25日（土）26日（日）に開催された。

群馬県和算研究会 事務局長 田部井勝稲先生にお誘いいただき、研究室の阿部優大君（学部4年）とともに8月26日（日）に参加した。

<http://www.ene1.me.gunma-u.ac.jp/wasanken/>

<http://www.ene1.me.gunma-u.ac.jp/wasanken/2ji-annai.pdf>

<http://www.ene1.me.gunma-u.ac.jp/wasanken/program1.pdf>

●参加者は全国から60名以上、発表14件、公開講演会2件



「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず。」（論語）

●和算研究会プログラム

8月25日(土)	(郷土博物館) 総合福祉センター 2F 会議室			
12:30～ 13:25	総合福祉センター 2F 会議室で受付 (この間博物館にて星宮神社の算額等見学) 発表会場 (総合福祉センター) に集合			
13:30	大会開会式 (会長、来賓 佐野市長)			
	司会	兼 座 長	鶴見和之	
時 間 割	順 序	発 表 者	題 目	備考
13:40～14:05	発表 ①	萬 伸介	最近確認された宮城県内の算額について	OHP
14:05～14:30	発表 ②	菅原 通	岩手盛岡藩の和算と算額について	PC
14:30～14:55	発表 ③	平田浩一	池田の定理について	PC
14:55～15:05	休憩 座長交代		真島秀行	
15:05～15:30	発表 ④	木下 宙 <small>ひづる</small>	阿部知翁図について	PC
15:30～15:55	発表 ⑤	城地 茂	『算法諸約術』と三河由精堂和算塾	PC 紙
15:55～16:20	発表 ⑥	佐々木 力	和算の成立	PC 紙
16:20～16:45	発表 ⑦	板垣芳雄	徳川日本の算学から学校数学が受け継がなかったこと	紙資料

8月26日(日) 2日目 午前中の会場：総合福祉センター 午後の公開講演会場：郷土博物館

	参加者は9:00までには総合福祉センターへ			
	司会 兼	座長	田部井勝稲	
時 間 割	順 番	発 表 者	題 目	備考
9:00～9:25	発表 ⑧	小曾根 淳	和算の曲率問題について	PC
9:25～9:50	発表 ⑨	ホスキング ロザリー	愛知県岡崎市六所神社の算額 (英 家銘 との共同研究)	PC
9:50～10:15	発表 ⑩	土橋拓馬	画像認識に基づく和算図形問題への自動タグ付け	PC
10:15～10:40	発表 ⑪	阿部優大	孫子算経(剰余系)の電子回路設計への応用 (小林春夫 との共同研究)	PC
10:40～10:50	休憩 座長交代		平田浩一	
10:50～11:15	発表 ⑫	瀧口和也	「女子開平」の幾何学的解釈	紙、黒板
11:15～11:40	発表 ⑬	徳田建司	関一オイラー数について(高校数学教材として)	紙資料
11:40～12:05	発表 ⑭	小林徹也	和算を現在の数学教育への活かし方の検討	PC
	誌上発表	田部井勝稲	「PCなしで容易に反転図形を描く方法」	数学教材
12:10～	大会閉会式(副会長)			
12:15～	昼食休憩 予約された方は弁当を受取り、総合福祉センター 2F で食べてください。 (ごみは所定場所に) (博物館内は食事不可です。) 昼食後、公開講演会場へ参加の方は、手荷物を持って博物館に移動			
	郷土博物館講座室		公開講演会 (一般市民も参加)	
13:30～14:30	第一部 記念講演「日本で最も古い星宮神社の算額について」小林龍彦			
14:30～15:30	第二部 最新研究報告「発見された那須・疱瘡神社の算額について」茂木、中村			

●会場の栃木県佐野市郷土博物館

<https://www.city.sano.lg.jp/city-museum/>



ここは「田中正造ゆかりの博物館」でもある。

佐野市は近年は「佐野ラーメン」でも街興しをしている。

● 阿部優大君（群馬大学 学部4年）の発表



阿部優大, 片山翔吾, 李从兵, 小林春夫「孫子算経(剰余系)の電子回路設計への応用」
第14回全国和算研究大会, 栃木県佐野市(2018年8月26日) [算額](#), [術文](#)

発表後, 何名かの方から「面白かった」とのリスポンスを得る.

「新しいものを発見する一番良い方法は、分かっていない人にわからせようとする
ことである。わからせようと説明していく中で、新たなことに気がつくのだ。」

(数学者 広中平祐先生)

●8月26日(日) 午後に 一般市民の方も開放して 2つの公開講演会が開催される。
第一部：記念講演 「日本で最も古い星宮神社の算額について」

前橋工科大学名誉教授 小林龍彦 先生

第二部：最新研究報告「発見された那須・疱瘡神社の算額について」

群馬県和算研究会副会長 中村幸夫 先生 佐野市郷土博物館主幹 茂木克美 先生

小林龍彦先生が「自分は文系(人文科学)的である」と言われたのが印象に残る。
和算は理系(数学)と文系の両方の要素があるのかと気が付く。

●これまでの筆者の研究室での和算, 古典数学の電子回路設計への応用の発表等

[1] 東野将史, 小林春夫

「[魔方陣レイアウトによるDA変換器の直線性の改善](#)」

[和算ジャーナル](#) 第1号(会報通巻52), pp.56-61(2018年3月)

[2] 佐々木秀, 小林春夫

「[初等数式 \$\(A+B\)^2\$ を用いたデジタル乗算器の話](#)」

[和算ジャーナル](#), 創刊号 no.1, pp.60-63(2017年3月)

[3] 小林春夫, 小林佑太郎,

「[フィボナッチ数列と電子回路の話し](#)」

群馬県和算研究会 会報, 第50号, pp.80-85 (2016年3月24日)

[4] 東野将史, 小林春夫,

「[魔方陣をつかった電子回路について](#)」

[群馬県和算研究会](#) 平成29年第2回例会, 桐生(2017年5月21日)

[5] [佐々木秀](#), 小林春夫

「[2乗則を用いたデジタル乗算器アルゴリズム](#)」

群馬県和算研究会 平成28年度4回例会, 前橋工科大学 (2016年10月2日)

[6] 小林祐太郎, 小林春夫

「[フィボナッチ数列のAD変換器設計への応用](#)」

群馬県和算研究会 平成29年度第4回例会, 群馬大学 (2015年11月1日)

[7] 剰余系時間デジタル変換回路 講義資料 <http://kobaweb.ei.st.gunma-u.ac.jp/lecture/TDC.pdf>

[8] [小林春夫](#)

「[温故知新：古典数学の掘り起しとAD/DA変換器設計への応用](#)」

第2回アナログ・グルとの集い ～日本の電子産業を強くする技術とは～,

東京コンファレンスセンター・品川 (2014年12月5日)

[9] 小林春夫 [郷土から学ぶ](#)

●ここ数年 和算の世界に多少でもかかかわり, 自分の世界が広がったことに気が付く。